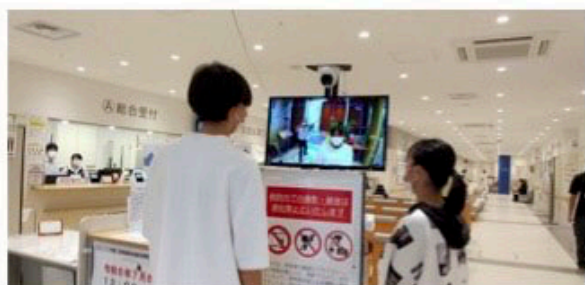


ボランティア体験談

私は将来医師になりたいと思っており、浪人中に医療に関わる社会活動をしたと考えてヨゼフ病院のボランティアに参加しました。入院中に使用するテープのカットや、入院書類のファイリング、院内の英語表示の普及作業などさまざまな仕事を経験しました。その中でも印象に残っているのはまちクラブという取り組みの一環で、病棟にいる患者さんと会話をしたことです。患者さんが若い頃の写真を見せてくださりながらとても楽しそうに話をされる姿を見て、こちらが患者さんの話し相手として役に立っているという実感を得ることができました。入院中の患者さんとこんなにも関われると思っていなかったため嬉しかったです。

そのような取り組みに加えて、ヨゼフ病院をより良くするために何ができるか考える、改革プロジェクトとという企画にも参加させていただきました。この企画を通して病院中のスタッフのみなさんに、病院についてや働く上で思うことなどを伺い、どうしたら改善できるのか考えました。今後も改革が形になっていくことを願っています。ここで感じたのは病院のスタッフのみなさんの温かさです。みなさん快く話をしてくださいました。



上記のような活動を通して、患者さんや病院スタッフの方々、幅広い年代のボランティア仲間と関わることができました。医師になりたいという思いはさらに強くなりましたし、人と関わりながら病院をよりよくするために活動できることが本当に嬉しかったです。このホームページを見ている方も、少しでも病院のために、患者さんのためになることをしたいと考えたならば是非ヨゼフ病院のボランティアに参加してみてください。